

ガーデン シティクラブ

大阪 会報誌 2008 January 創刊号



私の一筆
株式会社きんでん 相談役 宮本 一

和

宮本 一

This interview 【今号の会員様インタビュー】

すべては人の和に
如かず

株式会社きんでん 相談役 宮本 一



GCCO INFORMATION

ご利用いただくほどに、価値あるエクゼクティブプラン

Lounge

バレンタインフェア フレンチフルコース

◎期間/2/4~14 ◎金額/¥6,000

期間中にご来店いただいたお客様には
チョコレートのプレゼントをご用意しております。



ラウンジの
グランドメニューが
変わります。

従来の和食に加え、新たにフ
レンチ料理をご用意いたします。



特選和牛フィレ肉のポワレ
彩りの根菜添え/ハルサミクリーム
※メニューは一例です。



北田 悟 総料理長

東急ホテル・東急インのチェーンホテルで8年間、京都から始まり、伊豆などにも勤務
スイス日本領事館で料理長を任される(そのときに大使館は ミクニシェフ)
神戸のオークラのオープンに合わせて帰国。メインダイニングの「エメラルド」にて料理長を
務める8年にわたり腕を振り、神戸の老舗フレンチレストラン「トゥール・ドール」や神戸ベイ
シェラトン・ホテル&タワーズ メインダイニング「トップ・オブ・シェラトン」にて料理長を務める

Banquet

同窓会パーティプラン

お世話になった恩師…
同じ学舎でともに肩を並べた同窓生…
思い出のアルバムに残るかけがえのない
仲間達との再会をガーデンシティクラブで。

¥5,000プラン

キングサーモンと帆立貝のカルパッチョ和風大
葉ドレッシングかけ・完熟トマトと淡路産玉葱の
サラダ・魚介のトマト煮込 ナポリ風 など全9品
フリードリンク(ビール・焼酎・ウーロン茶)
※メニューは一例です。

◎形式/テーブルbuffe
◎実施人数/15名様~
(15名様以下の場合ご相談下さい)
◎利用時間/二時間・フリードリンク制
◎プラン適用期間/
2008年3月末日のご予約迄



※当プランのご利用は50歳以上のお客様限定とさせていただきます。

歓送迎会プラン

会員様価格

Aプラン ¥6,500

子蛸の炙り焼き 茄子のクーリとトマト・牛
舌のブレゼ 根菜類を添えて・ガーデンシ
ティクラブ大阪 特製スイーツ など 全11品
フリードリンク(ビール・焼酎(麦・芋)・ワイン(赤・白)・
ウイスキー・ウーロン茶・オレンジジュース)
※メニューは一例です。

Bプラン ¥7,500

Cプラン ¥8,500



◎形式/着席buffe
◎実施人数/15名様~
(15名様以下の場合ご相談下さい)
◎利用時間/二時間・フリードリンク制
◎プラン適用期間/
2008年4月末日のご予約迄

Event



第3弾 女流講談師が語る「日本の歴史」

「女の講談!淀君と山内一豊の妻」

戦国乱世を、強くそしてはかなく生き抜いた「淀君」。今や、内助の功の代名
詞でもある、一豊の妻「千代」。今宵解き明かされる戦国女の真実。
「日本の歴史」に興味のある貴方へ贈る、とっておきの文化交流セミナーです!
(松花堂弁当付)

女流講談師 旭堂 小三

◎日程/ 2/20(水)

18:00~ 受付開始
18:30~19:00 お食事
19:00~20:30 講談

◎参加費/ 会員 ¥2,000

一般 ¥5,000

料金はすべて税・サ込みとなっております。

編集 後記

ガーデンシティクラブ大阪会報誌では、「関西のビ
ジネス最前線で活躍する、Executiveの皆様との
交流と情報交換の場」のコンセプトをもとに、集まら
れた会員様方を、毎月お一人ずつクローズアップし、
その方の「座右の銘」等を題材に、今日までの「生
き様」に触れていきたいと思っております。
イベント・施設・レストランメニューよりも、会員様が
一番の魅力である、ガーデンシティクラブ大阪。会
員様が主人公の会報誌を作ればと思っております。

スタッフ紹介 vol.01 総支配人 伊藤 幸太郎

「遊びをせんとや生まれけむ」

余暇は関学ボート部監督 神崎川
で孫のような選手たちと戯れている。
フルマラソン31回、100キロマラソ
ン2回完走。
困ったときは体力勝負! 65歳

Profile

昭和17年1月3日 芦屋に生まれる
昭和39年 関西学院大学商学部卒業
六甲山ホテル・宝塚ホテル40年在籍
平成12年 宝塚ホテル取締役総支配人
平成19年 ホロニック社 顧問
兼 ガーデンシティクラブ総支配人



イベントのお申し込み・各種お問い合わせは

TEL.06-6343-7770

すべては人の和に 如かず

宮本 一
Hajime Miyamoto



PROFILE
宮本 一氏 略歴
1932年 生まれ
1956年 京都大学工学部電気工学科 卒業
1956年 関西電力株式会社 入社
1985年 関西電力株式会社 取締役就任、その後常務取締役、専務取締役を経て
1997年 より2001年まで関西電力株式会社 代表取締役副社長
1994年 よりコスモ石油株式会社 監査役
2001年 株式会社きんでん 代表取締役会長
2007年 株式会社きんでん 相談役に就任 現在に至る

30秒ルールの生みの親？

京都と奈良の県境で、戦雲に頭を抑えられながら、大きく育った。旧制中学時代には飛行場建設も経験した。でも「軍国」ではなく、スポーツ少年だった。バスケットボール部だったが、平泳ぎで奈良県の記録を更新したり、陸上部の駅伝大会に借り出されたりもした。主将を務めた京大時代、私学に勝つため、自陣はもとより敵陣でもひたすら味方同士でパスを回し続け、最少得点差で勝とうという奇手を編み出した。でも善戦はしたが、勝てなかった。後に、ボールを持つたら30秒以内にシュートを打つ

というルールができたが、そのきっかけは、この奇策にあったようだ。

プラス思考で、前向きに

170秒と小柄だったが、フオワードで得点能力も結構あったためか、アジア大会の代表候補にもなった。でも自分の力はわかるので、関西電力に入社した。20年後(2000年)のビジョンづくり、通信事業の立ち上げ・と答える出ていない仕事にばかり携わってきた。振り返って、バスケットを通じて体得した、目標という大団に向かつて小異を捨てることのできるチームワーク、「和」の大切さ。

そして、「攻撃は最大の防御なり」という、何事にもアグレッシブに前向きに立ち向かう精神と、これらを土台にして培われたプラス思考が、半世紀を超える社会人生活をより充実したものにしてくれたように思う。

新たな価値創造、 産業創出に資するクラブへ

市民だったご縁もあって、堺市のスポーツ・地域振興のお手伝いをしていく。地域ごとに老若男女がそれぞれの種目で競い合う「市民オリンピック」は、次代の市民づくりのうえで、とてもいい行事だ。「天の時は地の利に如(し)かず、地の利は人の和に如かず」という。人心の和合がなければ、何事もならないとの

教えた。

エネルギーや情報通信の勉強などの公務とプライベートを併せて延べ80回、世界60カ国を巡ってきた。夫婦で世界遺産のマチュピチュや北アフリカ諸国、南アフリカ共和国なども旅した。旅に出るたびに、日常の中で、「井の中の蛙」に陥っている自分に気づかされる。目や肌の色、そして考え方、行動様式とすべてに違う多様性を前提に、お互いを尊重し合いながら、手を携えあっていくことの重要性に気づ



かされる。「異業種メンバーの知恵とネットワークを生かし、メンバーはもとより地域や社会にも魅力あるクラブづくりを」。主宰者のこんな理想に共鳴、「関西経済界の交流の拠点として、またアジアゲートウェイへの架け橋として、ビジネス、文化、学術全般にわたり、関西と全国、世界を結ぶための拠点として、各界のメンバーの交流を通じて関西経済活性化に寄与するクラブ。新時代にふさわしい新しい価値の創造、産業の創出に資する提案をするクラブ」づくりのお手伝いをする理由もこんなところにあります。24時間空港の離陸、アジアとの時間距離の短縮という「天の時、地の利」をメンバーとの「和」を通して、経験だけでなく歴史から学びながら、プラス思考でやってみようではありませんか。多様性に富み、元気でユニークな、たくさんの方々の大阪の中堅企業にメンバーに加わってもらいながら。

メンバーシップ・コミッティイ及び ハウス・コミッティイ

メンバー間の交流と活性化に、ご提言・ご尽力頂ける方々

- | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|---------------------|------------------------|-----------------|------------------|------------------|-------------------|
| 委員長
橋本 裕之 | 副委員長
橋本 裕之 | 相談役
宮本 一 | 相談役
宮本 一 | 委員
抱 厚志 | 委員
神田 貴彦 | 委員
黒田 啓介 | 委員
塩澤 賢一 | 毎日新聞社
広告局長 園崎 明夫 | 関西電力株式会社
執行役員 西川 省三 | 近畿大学
学長 宮本 勝 | 近畿大学
学長 森田 秀朗 | 近畿大学
学長 結城 健夫 | 近畿大学
学長 渡辺 真一郎 |
|--------------|---------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|---------------------|------------------------|-----------------|------------------|------------------|-------------------|

ハウス・コミッティイの方々

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 委員
岸本 明 | 委員
土井 真典 | 委員
江藤 俊朗 | 委員
太田 良一 | 委員
小野 逸二 | 委員
加藤 芳己 | 委員
金住 哲子 | 委員
小岩 文幹 | 大和ハウス工業(株) 営業本部
営業推進部長 齊藤 一彦 | 大和ハウス工業(株) 営業本部
営業推進部長 田内 芳信 | 大和ハウス工業(株) 営業本部
営業推進部長 高田 政輝 | 大和ハウス工業(株) 営業本部
営業推進部長 千原 正人 | 大和ハウス工業(株) 営業本部
営業推進部長 福田 武夫 | 大和ハウス工業(株) 営業本部
営業推進部長 水野 弘敏 | 大和ハウス工業(株) 営業本部
営業推進部長 森川 盟 | 大和ハウス工業(株) 営業本部
営業推進部長 山本 嘉一 | 大和ハウス工業(株) 営業本部
営業推進部長 綿野 憲治 |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

メンバーズパーティ

GCCOメンバーの方々の交流をより深めていただければとの趣旨で、毎月一回メンバーズパーティを開催いたします。みなさまお誘い合わせの上ご参加お待ちしております。

第一回目

◎日時/H20.2/7(木)
18:30~

◎参加費/¥3,000
◎ホスト役
(株)きんでん
相談役 宮本 一



第二回目

◎日時/H20.3/5(水)
18:30~

◎参加費/¥3,000
◎ホスト役
株阪神ホテルシステムズ
(リッツカールトン大阪経営)
代表取締役社長
橋本 裕之



GCCOレポート

第一回 焼酎フェア

(07.11/1開催)



焼酎好きの会員様が多いことから、「日本焼酎の旅」と題しまして、各地の有名焼酎をお楽しみ頂ける企画を開催いたしました。

今回は、NHK大河ドラマ「篤姫」にちなんで、鹿児島焼酎の蔵元、濱田酒造様にご協力頂き、社長である濱田様より、鹿児島焼酎についての歴史を語って頂き、その後「なごこ」「兼重」などのめずらしい焼酎を、ご賞味頂きました。鹿児島に引き続き、日本各地の蔵元をめくり、そして焼酎にまつわる歴史を語る機会になればと思います。

第一回 講 談

(07.10/27開催)



「賢者は歴史に学び、愚者は体験に学ぶ」
「講談」という、忘れられつつある日本の伝統芸能に触れながら、第二の戦国時代と言われる今日、歴史をひもとくとき、先人達の事跡に学ぶ企画を開催いたしました。歴史好きの方々が集まり、真田幸村の戦いの美学、豊臣秀吉の人身掌握術について会話の飛交う場となりました。「現代と戦国時代」、「ビジネス戦略と国取戦略」時代は変われど、戦略やマネジメントを考える上では同じようです。

(第二回講談は07.12/13に開催されました)